

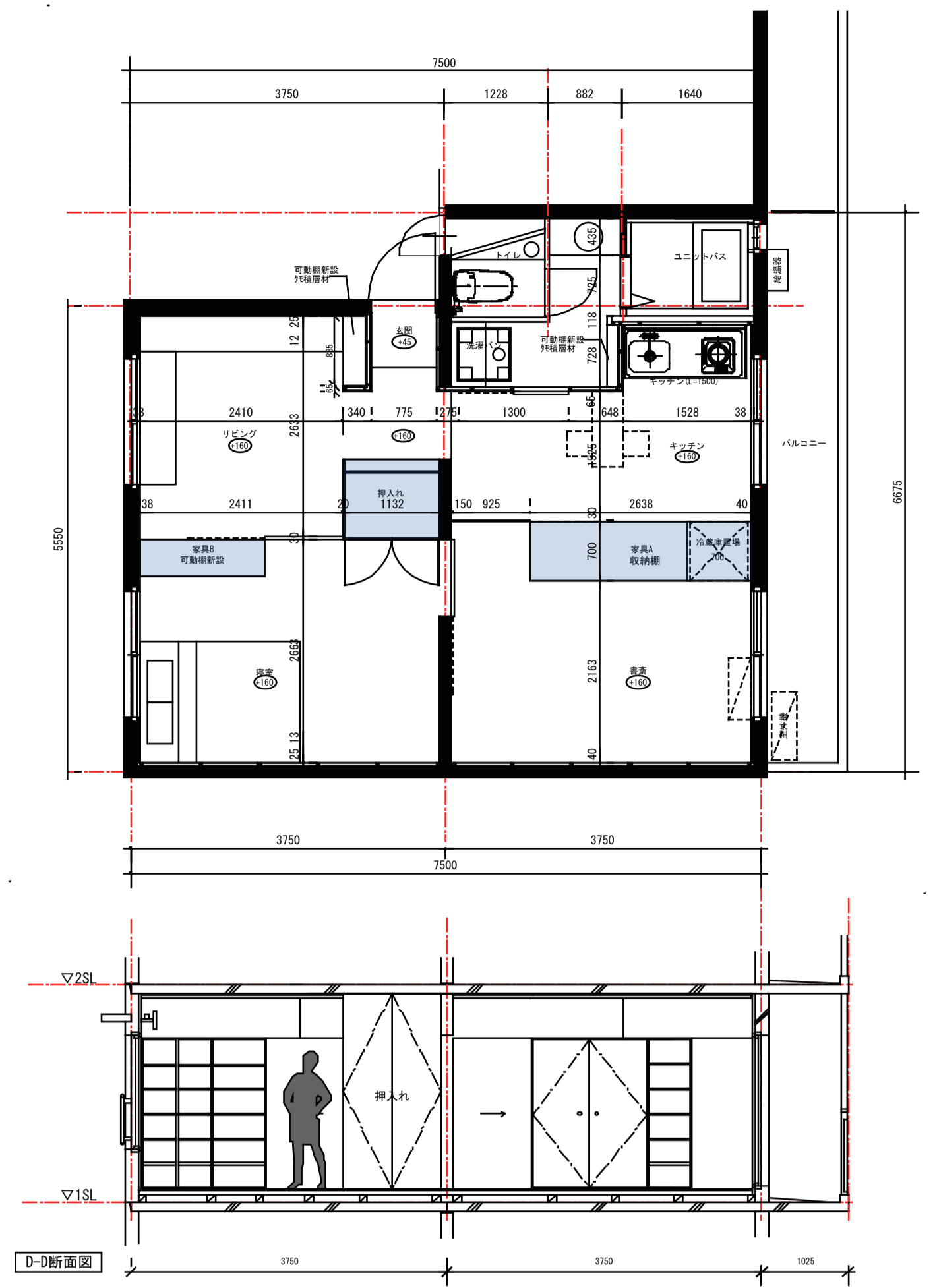
収納を楽しむ家

◆コンセプト

暮らしに必要な不可欠な収納スペース。
単にものを「しまう」という事だけにとどまらず、インテリアとして楽しむことのできる生活空間を提案する。この収納は視線をさえぎり、プライベート空間と共有空間をつなぎます。



家具の配置で部屋を仕切り部屋の用途によって収納の仕方も変わります。
棚は生活必需品や本などの散らかりやすいものを収納できます。
有孔ボード側は来客時に見られたくないものや生活感のあるものを隠すために配置し壁を飾ることができます。



玄関の前は家を出るときに必要なものを置いておきます。
メモを張っておくことで家族間の伝言板として使うことができます。
また靴箱は団地の面影を残すために既存のものを利用します。

洗面所では座って化粧をすることができます。

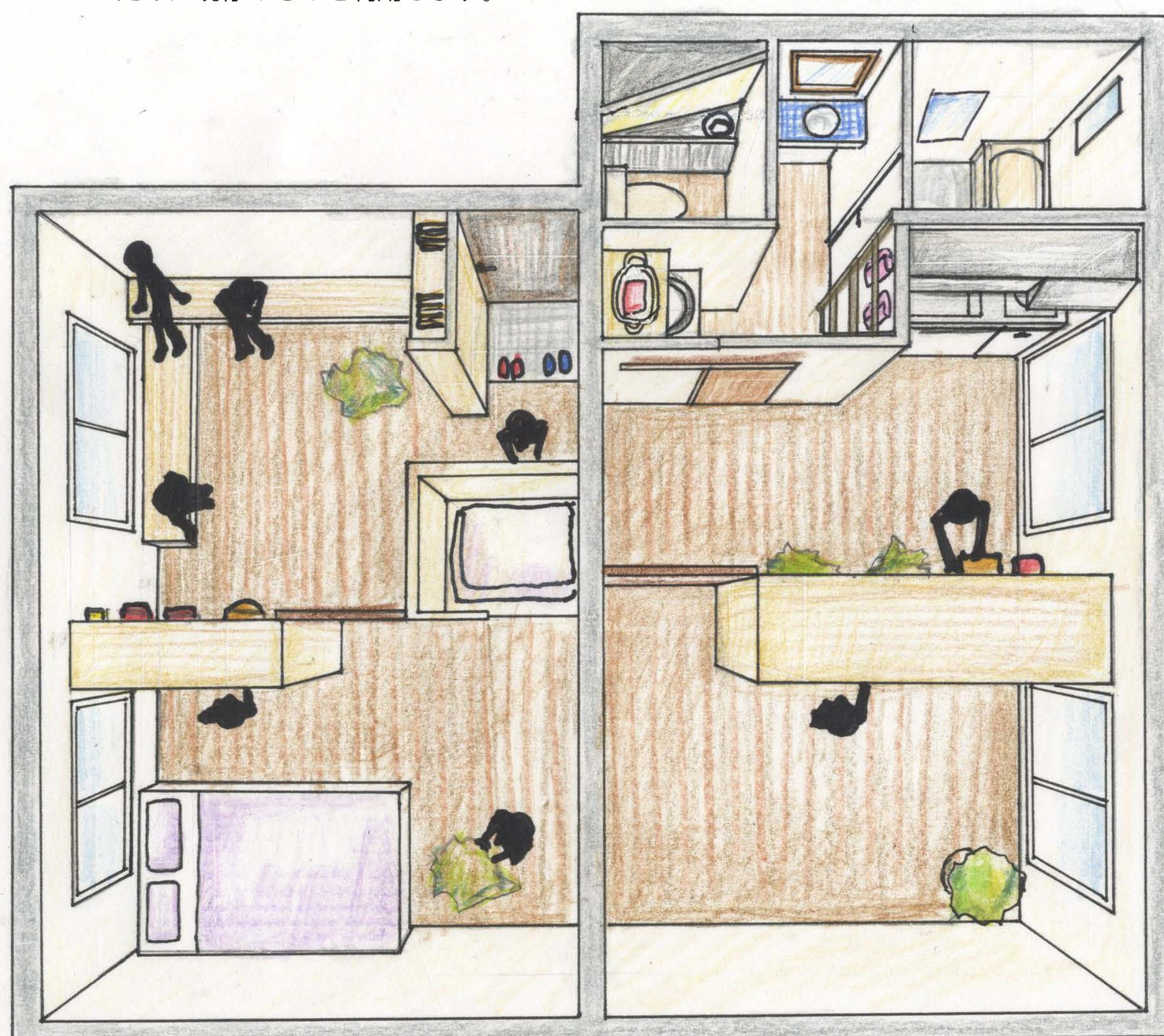
キッチンと書斎の間にある収納には冷蔵庫から炊飯器、電子レンジを収納できるようになっている。
有孔ボードには気に入った食器を飾ることができインテリアとしても楽しむことができます。



リビングは来客間としても使用でき、寝室が見えないように収納で仕切っています。



カーテンレール兼間接照明



書斎側には洗濯物を取り込んだらすぐに片づけられるようにクローゼットがあります。
この部屋は住む人が家具を持ち込み、用途によって部屋を模様替えできるようになっています。